

株主ならびに投資家の皆様へ



5期連続の増収増益。 「量的拡大」と「質的向上」により、 持続的な成長を目指します。

2007年度の当社の連結業績は、5期連続の増収増益を達成し、株主の皆様への配当も6期連続の増配とすることができました。通信市場への新規事業者の参入や通信料金競争の激化といった厳しい事業環境の中で、着実な実績が残せたと考えています。

特に、移動通信事業においては、auの累計契約数がこれまでの目標であった3,000万に到達し、引き続き当社全体の業績を牽引しました。

しかしながら、順調に拡大を続けてきた日本の移動通信市場も、法人需要にはさらなる成長が期待できるものの、コンシューマ市場は成熟が進み成長は緩やかに鈍化していくと予想され、当社を取り巻く競争環境は、今後さらに厳しくなるものと考えています。こうした環境においては、常にお客様に十分にご満足いただけるサービスの開発・提供を行っていくことこそが競争力の源泉であると認識し、お客様満足度の向上に取り組んでまいります。

一方、固定通信事業においては、サービスの中心が従来型の通信サービスから距離に関係のないIP通信に移行する中、収益源として自社でアクセス回線を提供する「直収化」を進めることが重要になっております。そのため、当社は新たな収益確保に向けたアクセス回線系ビジネスへの取り組みを強化しています。

加えて、情報通信を核とした新たな価値創造をお客様に提案する、高付加価値事業への取り組みを本格的に進めてまいります。

こうした取り組みを通じて、中期的目標「チャレンジ2010」で掲げたあらゆるサービスにおけるお客様満足度No.1に挑戦し、「量的拡大」と「質的向上」の両立による持続的成長を目指すとともに、企業価値をさらに高め、より一層の皆様のご信頼とご期待に応えてまいります。株主ならびに投資家の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

2008年7月

小野寺 正

代表取締役社長兼会長

小野寺 正